

なかよしだより

平成31年4月

あふれる思いを

園長 杉山 智

季節は春。気持ちもうきうきとしてきます。園庭では種々の花々が咲き誇り、子ども達の歓声も心なしかより晴れやかに感じます。やはり新学期の始まりは4月が似合うように思われます。ここに新学期を迎えるにあたってこれからの教育への思いを記します。

園での生活を考えて見ましょう。「個々を大切にする保育 園での教育では、子どもの自主性を尊重し、競争ではなく、個々を大切にする保育を展開することを根幹としています。」子どもたちは、「整えられた環境」の中で互いに刺激しあいながら、真に目的ある活動を展開していきます。保育においては、年長児たちが年下の子どもたちを教師以上に上手に指導する姿が見受けられます。年長児は、年少児の模範となるべく行動し、進んで世話をしたり、教具の扱い方を教えたりと、生活の手助けをすることによって、独立心、積極性、社会性などを獲得していくのです。一方、年少児たちは年長児の姿を見て、まねをしながら成長を遂げていきます。彼らは、身近にいる年長児を目前の具体的な目標とし、自己の活動の指標として生活空間を広げていくのです。また、年長児が教具を自由に扱う様子を見て、興味・関心をもった年少児は、自ら進んで活動に取り組むようになっていきます。